

平成17年基準 消費者物価指数

東京都区部 平成20年3月分(中旬速報値)及び平成19年度平均(速報値)

平成20年3月分(中旬速報値)

1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として100.5となり、前月比は0.6%の上昇。前年同月比は0.6%の上昇となった。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前月比は0.5%の上昇。前年同月比は0.6%の上昇となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.4となり、前月比は0.6%の上昇。前年同月比は0.1%の上昇となった。
- ~~~~~

図1 総合指数の動き

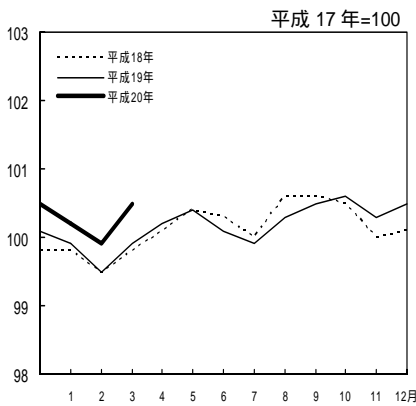


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

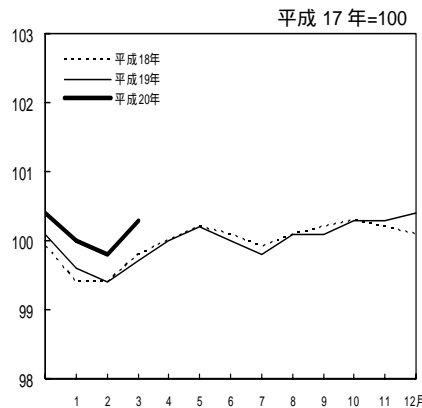


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

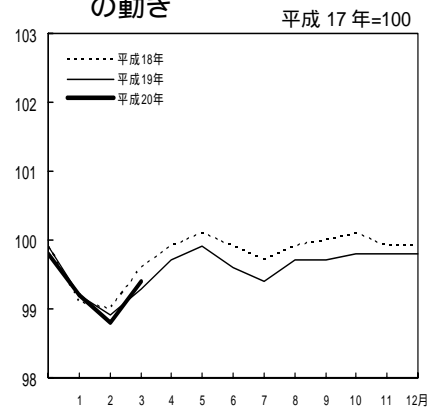


表1 総合, 生鮮食品を除く総合, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の前月比及び前年同月比

		平成19年												20年 (%)		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	前月比	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.6		
	前年同月比	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.4	0.6		
生鮮食品を除く総合	前月比	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.2	0.5		
	前年同月比	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.6		
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前月比	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.6		
	前年同月比	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1		

(注) はマイナスを表す(以下同じ)

2 東京都区部

2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年=100)

指 数	総 合			食 料			住 居	光 熱・ 水 道	家 具・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通・ 通 信	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	食 料・工 ネ ル ギ ー を 除 く *	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料												
指 数	100.5	100.3	99.4	101.7	104.6	101.1	100.2	105.0	95.4	98.2	99.3	100.5	102.0	97.3	102.0
前 月 比 (%)	0.6	0.5	0.6	0.8	2.3	0.5	0.0	0.0	1.1	4.8	0.1	0.4	0.0	0.8	0.0
寄 与 度	0.60	0.48	0.43	0.20	0.10	0.10	0.00	0.00	0.03	0.22	0.00	0.04	0.00	0.09	0.00

* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合 (以下同じ)

総合指数の前月比が0.6%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、被服及び履物、食料、教養娯楽などの上昇が要因となっている。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前月比(寄与度)	品目，前月比(寄与度)
	被服及び履物	衣料 9.1%(0.18)	…… 女兒スカート(夏物) 22.3%(0.01) など
	食料	生鮮野菜 3.7%(0.07)	…… キャベツ 34.9%(0.03) ， にんじん 36.5%(0.02) など
	教養娯楽	教養娯楽サービス 1.3%(0.08)	…… 外国パック旅行 9.0%(0.07) など

3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前 年 同 月 比 (%)	総 合			食 料			住 居	光 熱・ 水 道	家 具・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通・ 通 信	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	食 料・工 ネ ル ギ ー を 除 く *	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料												
(0.4)	(0.4)	(0.1)	(0.8)	(1.3)	(0.7)	(0.0)	(1.5)	(2.9)	(1.2)	(0.3)	(1.6)	(1.1)	(0.6)	(0.9)	
0.6	0.6	0.1	1.2	1.3	1.1	0.1	1.5	1.1	0.6	0.2	2.0	0.5	0.5	0.9	
(0.40)	(0.39)	(0.07)	(0.20)	(0.05)	(0.14)	(0.00)	(0.09)	(0.08)	(0.05)	(0.01)	(0.16)	(0.05)	(0.07)	(0.05)	
0.60	0.58	0.07	0.30	0.05	0.23	0.03	0.09	0.03	0.03	0.01	0.20	0.02	0.06	0.05	

注) ()は，前月の前年同月比及び寄与度

総合指数の前年同月比が0.6%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、食料、交通・通信などの上昇が要因となっている。

[主な内訳]	10大費目	中分類，前年同月比(寄与度)	品目，前年同月比(寄与度)
	食料	生鮮野菜 11.1%(0.20)	…… ねぎ 57.3%(0.05) など
	交通・通信	自動車等関係費 4.6%(0.18)	…… ガソリン 20.1%(0.17) など

参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総 合	財							サービス				
		生鮮食品 を除く財	農 畜 産 物	水 産 物	工 業 製 品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出版 物	サービス	公 共 サービス	一 般 サービス	うち 外 食	うち 民 営 家 賃
前 年 同 月 比 (%)	(0.4)	(0.3)	(0.3)	(1.1)	(0.0)	(6.7)	(1.3)	(0.1)	(0.4)	(0.4)	(0.5)	(1.0)	(0.2)
	0.6	0.8	0.8	1.4	0.7	5.4	1.3	0.0	0.4	0.4	0.5	1.1	0.2
寄 与 度	(0.40)	(0.13)	(0.11)	(0.07)	(0.00)	(0.21)	(0.06)	(0.00)	(0.23)	(0.05)	(0.23)	(0.06)	(0.01)
	0.60	0.33	0.30	0.09	0.20	0.17	0.06	0.00	0.23	0.05	0.23	0.07	0.01

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度

参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目 (中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比 (%)		中 分 類	前月比 (%)	
1 衣料	9.1		1 生鮮果物	1.2	
2 他の被服類	4.9		2 飲料	0.8	
3 生鮮野菜	3.7		3 教養娯楽用耐久財	0.7	
4 生鮮魚介	3.0		4 医薬品・健康保持用摂取品	0.6	
4 室内装備品	3.0		5 理美容用品	0.3	

参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目 (中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比 (%)		中 分 類	前年同月比 (%)	
1 他の光熱	24.5		1 教養娯楽用耐久財	16.5	
2 生鮮野菜	11.1		2 生鮮果物	10.7	
3 肉類	5.4		3 室内装備品	5.2	
4 自動車等関係費	4.6		4 他の被服類	3.2	
5 油脂・調味料	3.4		5 生鮮魚介	2.8	

参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目 (中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)		中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)	
1 生鮮野菜	0.20	11.1		1 教養娯楽用耐久財	0.12	16.5	
2 自動車等関係費	0.18	4.6		2 生鮮果物	0.10	10.7	
3 肉類	0.10	5.4		3 生鮮魚介	0.04	2.8	
4 教養娯楽サービス	0.07	1.1		4 衣料	0.02	1.1	
4 外食	0.07	1.1		4 家庭用耐久財	0.02	2.7	

前年同月比の上昇幅の拡大に寄与した主な項目 (中分類) 注1)

	前 月	今 月
衣料	- 3.2% (- 0.07)	- 1.1% (- 0.02)

(別掲)

石油製品 注2)	18.8% (0.20)	19.7% (0.20)
エネルギー 注3)	5.0% (0.26)	5.1% (0.27)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については12ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 消費者物価指数（東京都区部）
 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比は前月に比べ0.2ポイント拡大。平成10年3月以来、10年ぶりの上昇幅。

表1 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成20年2月		平成20年3月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	506	5.0	0.26	0.1	5.1	0.27	0.00
電気代	247	1.3	0.03	0.0	1.3	0.03	0.00
都市ガス代	159	2.0	0.03	0.0	2.0	0.03	0.00
石油製品	100	18.8	0.20	0.4	19.7	0.20	0.01
プロパンガス	7	6.2	0.00	0.8	7.0	0.01	0.00
灯油	9	22.4	0.02	0.7	24.5	0.03	0.00
ガソリン	84	19.4	0.17	0.3	20.1	0.17	0.01

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成20年2月		平成20年3月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	91	-4.9	-0.04	1.1	-2.7	-0.02	0.02
教養娯楽用耐久財	102	-17.4	-0.13	-0.7	-16.5	-0.12	0.01
テレビ（薄型）	24	-17.9	-0.03	3.1	-15.4	-0.02	0.00
パソコン（デスクトップ型）	12	-19.2	-0.02	-2.7	-19.8	-0.02	0.00
パソコン（ノート型）	19	-36.2	-0.05	-6.0	-37.3	-0.05	0.00
カメラ	10	-30.4	-0.02	1.6	-26.2	-0.01	0.00

表3 交通・通信の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成20年2月		平成20年3月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	35	4.4	0.01	6.0	4.8	0.02	0.00
タクシー代	31	4.4	0.01	0.0	4.4	0.01	0.00
移動電話通信料	166	-2.0	-0.03	0.0	-0.1	0.00	0.03

< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウエイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left(\begin{array}{c} \text{当期の} \\ \text{品目Aの指数} \end{array} - \begin{array}{c} \text{前期の} \\ \text{品目Aの指数} \end{array} \right) \times \frac{\text{品目Aのウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げても上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。